

新小谷木橋 NEWS



世界遺産平泉
PRキャラクター「ケロ平」

【Vol.6】 令和1年7月発行 編集：岩手県県南広域振興局土木部

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

～（仮称）新小谷木橋上部工の架設工事が進んでいます！～

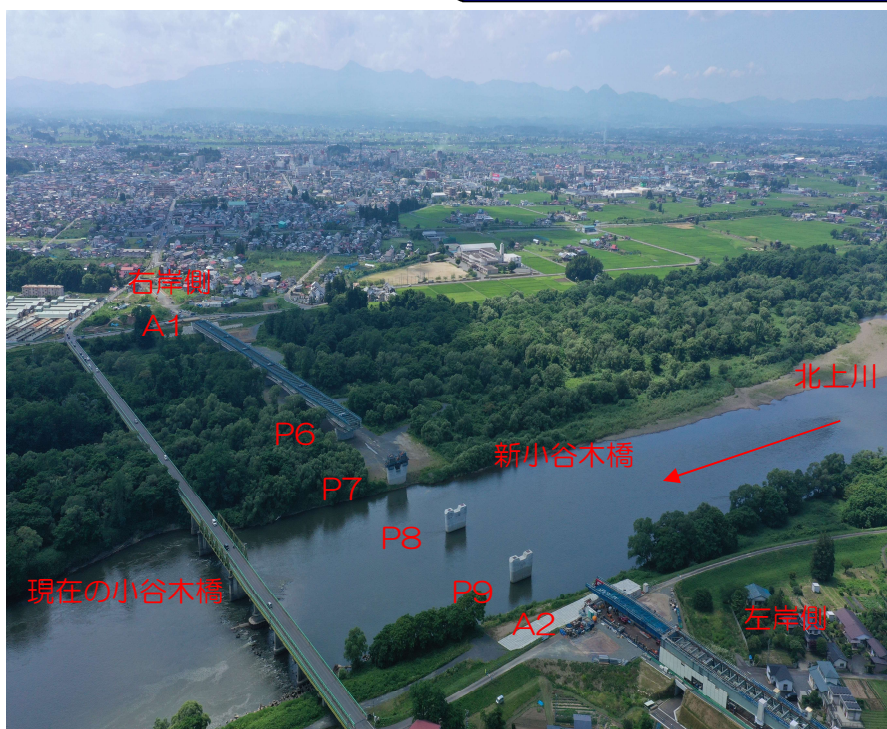
一般国道397号小谷木橋工区では、架橋から60年以上が経過して老朽化が著しく、幅員が狭く車両のすれ違い困難な交通隘路となっている小谷木橋（595.3m）の架替を行います。

新しい橋（（仮称）新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約130m上流に建設中であり、平成27年11月から下部工工事を進めて来ましたが平成30年9月までに全ての下部工（橋台2基、橋脚9基）が完成しました。

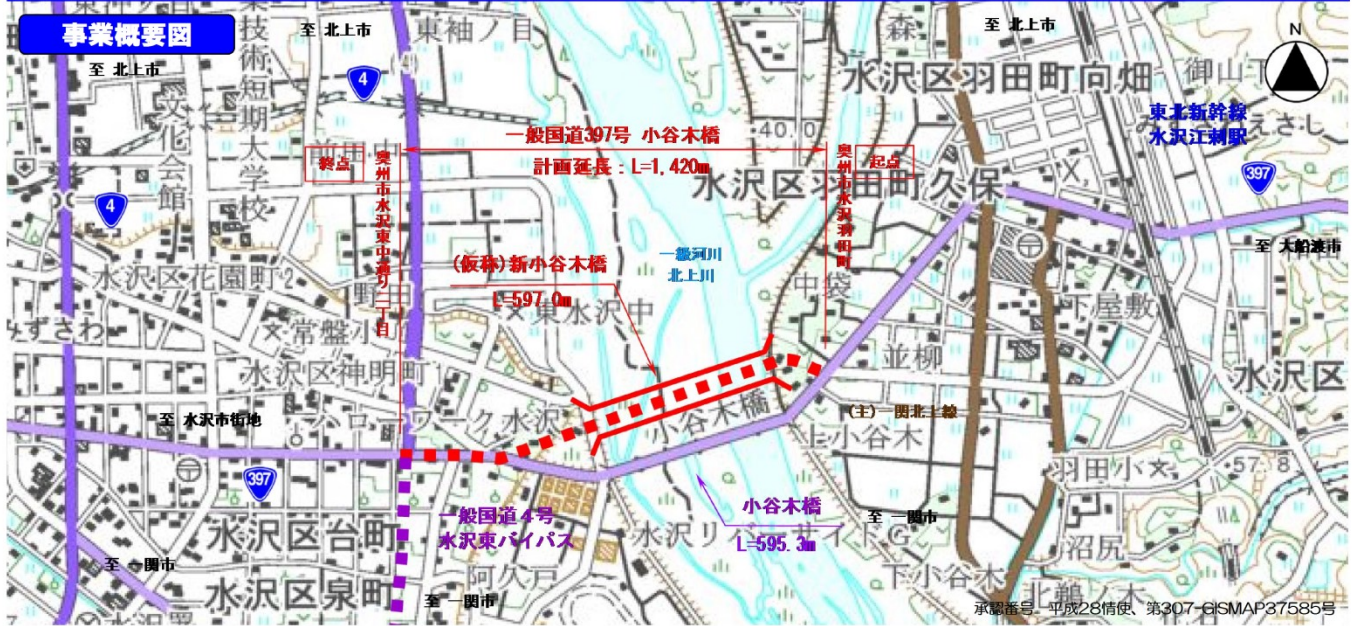
上部工工事は平成30年12月から架設工事に着手（工事受注者：JFEエンジニアリング㈱・北日本機械㈱特定共同企業体）し、今年の6月末までに右岸側（A1～P6）をクレーンベント工法で施工し架設完了。現在、左岸側（P7～A2）について送り出し工法による架設の準備を進めており、10月中旬頃を目標に左岸側の架設を完了する予定です。その後、残ったP6～P7間について、クレーンにより落とし込み架設を行い、11月には閉合予定となっています。

小谷木橋工区は、上部工工事と並行し右岸側・左岸側の道路改良舗装工事も本格的に始まります。工事中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

上部工の進捗状況



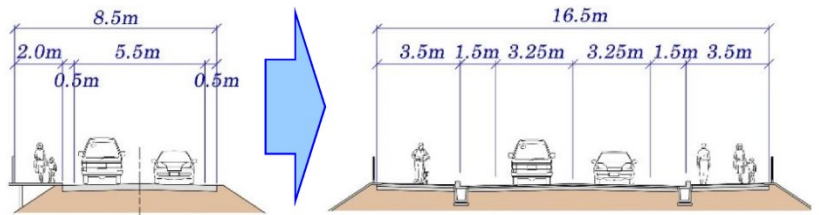
小谷木橋工区の事業計画①～計画概要～



計画概要

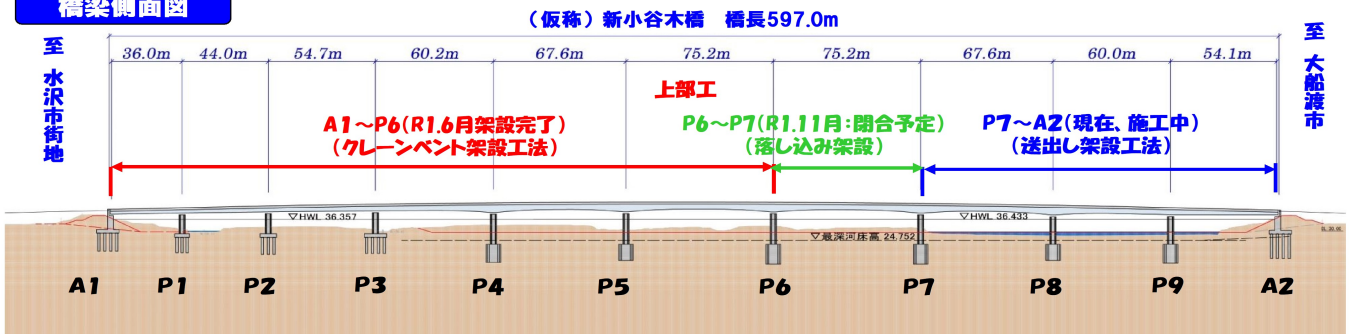
計画延長	1,420m	
計画幅員	一般部	6.5(16.5)m
	橋梁部	6.5(15.0)m
道路の区分	第3種第2級	
設計速度	60km/h	
事業期間(予定)	2012(H24) - 2024	

標準断面図(一般部)



小谷木橋工区の事業計画②～(仮称)新小谷木橋～

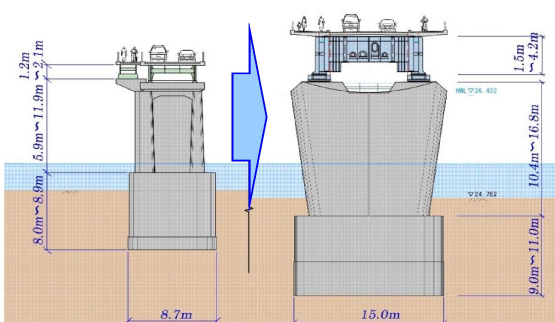
橋梁側面図



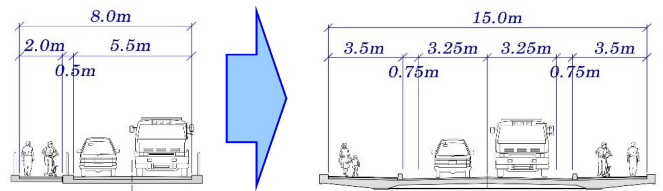
橋梁計画

名称	構造	
	(仮称)新小谷木橋	延長(m)
	上部工	鋼10径間連続 合成2主鉄桁
	下部工	逆T式橋台(杭基礎) 壁式橋脚(杭基礎、ケーソン基礎)

橋梁断面図



標準断面図(橋梁部)



～産業技術短期大学水沢校、羽田町川前自治会の現場見学会を開催しました！～

小谷木橋工区では、令和 1 年 7 月 24 日と翌日 25 日に新小谷木橋の現場見学会を開催しました。

24 日の現場見学会には、産業技術短期大学水沢校建築設備科の 1 年生 12 名、2 年生 19 名の計 31 名の参加、翌 25 日の現場見学会には羽田町川前自治会から 59 名の参加をいただき、工事が進む上部工送り出し架設（左岸側 P7 橋脚～A2 橋台間）の現場を間近で見学しました。

見学会では、工事の概要や本現場で採用しているクレーンベント工法や送り出し工法の架設工法等について説明を行い、これから作業が本格化する送り出し架設については、作業が進む現場を見ながら設備や今後の具体的な施工方法について説明を行いました。

また、作業体験として桁の連結に使用する高力ボルトの締付を体験していただき、産業技術短期大学の生徒の皆様には、併せて最新の測量機器を使用した実技を見学していただきました。

見学会の最後には、参加者全員の集合写真を撮影し、両日の見学は終了しました。

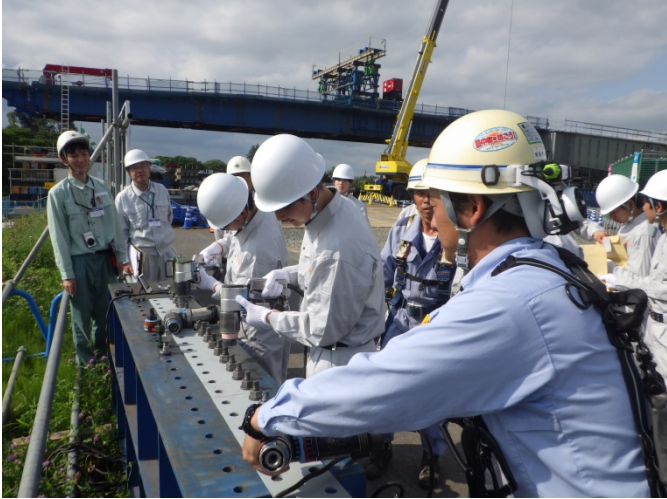
架設工法等を説明



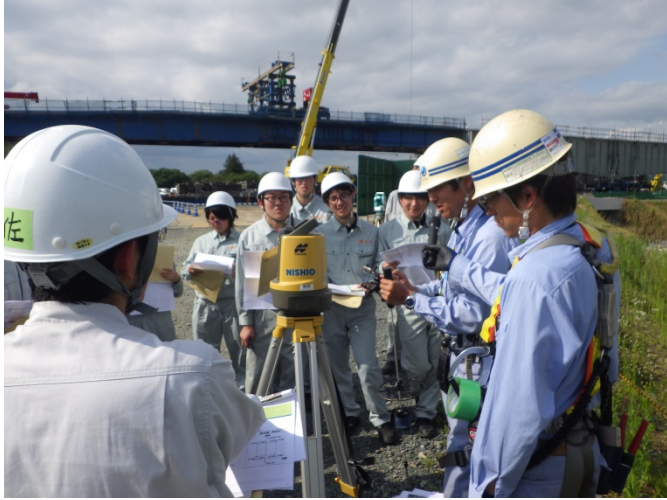
作業現場を見学



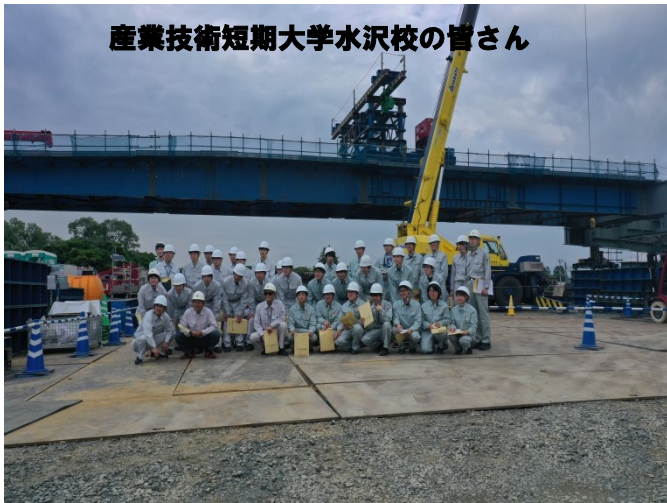
高力ボルトの締付体験



最新測量機器の実演



手延べ機前で集合写真



産業技術短期大学水沢校の皆さん



羽田町川前自治会の皆さん

【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課
〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2

三陸復興

電話番号：0197-22-2881(内線 351)